

令和5年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・教科の正答率がどの学年も目標値を上回ることができており、単元で学習したことがよく定着した。
- ・理科的事象の子に関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度が育成された。

(2) 課題

- ・根拠を明確にして簡潔に表現する力を伸ばすことが必要である。
- ・実感を伴う理解を深めるために、実験や考察の活動を充実させることが必要である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

【◎…目標値を上回った(+5以上) ○…目標値と同程度(±0～+4.9) ▲…目標値を下回った】

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	◎	/	/
第5学年	◎	○ (第4学年時)	/
第6学年	◎	○ (第5学年時)	○ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正答率が目標値を上回っている。実感を伴って理解できた学習については、定着度が高くなっており、特に「こん虫の育ち方」の領域については正答率が高かった。	正答率が目標値を上回っている。基本の知識を手掛かりに、問題を解決する力が身に付いている。特に、「太陽と地面のようす」についての問題では正答率が高かった。	正答率が目標値を上回っている。興味関心が高く、主体的に学習に取り組む児童が多いと考えられる。特に、「植物の育ち方」についての問題では正答率が高かった。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正答率が目標値を上回っている。実感を伴って理解できた学習については、定着度が高くなっており、特に「魚のたんじょう」についての問題では正答率が高かった。	正答率が目標値を上回っている。基本の知識を手掛かりに、問題を解決する力が身に付いている。特に、「天気の変化についての問題では正答率が高かった。	正答率が目標値を上回っている。興味関心が高く、主体的に学習に取り組む児童が多いと考えられる。特に、「流れる水のはたらき」についての問題では正答率が高かった。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○教科書やデジタル教材等を活用し、学習で用いる器具や機器などの正しい扱い方を理解できるようにする。</p> <p>○タブレット等を活用し、分からないことを自ら調べたり、習熟したりする機会を設ける。</p>	<p>○実験前は、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を行うことができるようにする。</p> <p>○実験後は、得られた結果を基に考察したことを、タブレット等を活用し、他者と共有する。</p>	<p>○理科で学習する事物・現象について、児童の身近な体験と関連付けることで、興味関心を高め、より主体的に学習に取り組むことができるようにする。</p>

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○教科書やデジタル教材等を活用し、学習で用いる器具や機器などの正しい扱い方を理解できるようにする。</p> <p>○実際に器具を操作する活動等を行い、実感を伴う学習を行うようにする。</p>	<p>○原因や根拠を明確にしなが、事物や現象を説明する活動を通し、理科の用語を正しく使い、実験の組み立ての理由等を説明できるようにする。</p> <p>○学習したことを生活に結び付けて理解できるようにする。</p>	<p>○理科で学習する事物・現象について、児童の身近な体験と関連付けることで、興味関心を高め、より主体的に学習に取り組むことができるようにする。</p> <p>○学習内容を生活に生かせるような振り返りを行うようにする。</p>